

令和8年度 7月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



遊んでいるだけでは だめですか？

園長 足立 祐子

水遊びが楽しい季節になりました。幼児期の子どもたちにとって、遊びはただ楽しいだけのものではなく、毎日の中にたくさんの学びがつまっています。特に夏ならではの水遊びは、子どもたちの「やってみたい！」という気持ちを引き出し、自然と探究する姿につながっていきます。

例えば、3歳児の雪組では、水に触れた瞬間に「つめたい！」「気持ちいい！」と感じたり、水が流れる様子をじっと見つめたりする中で、子どもたちはさまざまな感覚機能をたっぷり使っています。そして、「どうしたら水がつかめるかな？」「シャワーのトンネルをくぐりたい！」と、自分なりに考えながら試していきます。こうした姿は、まさに遊びの中の学びです。

4歳児の花組では、カップやバケツを使って水を移し替えたり、色水やシャボン玉で遊んだりする中で、思うようにならない経験もしています。でも、子どもたちは「じゃあ次はこうしてみよう」と方法を変えながら何度も挑戦します。その繰り返しが、考える力や工夫する力につながっていくのです。

5歳児の月組に至っては、個々で探究するだけでなく、友達との関わりも深めていっています。「一緒にやろう」「そこを押さえてみて」「ありがとう、助かるよ！」と声を掛け合いながら遊ぶ中で、相手の気持ちに気付いたり、協力する楽しさを感じたりする姿も見られます。楽しい気持ちを共有する経験は、安心感や信頼関係を育てる大切な時間になります。

幼児期に大切なのは、大人が答えを教えることよりも、子どもが「なんでだろう？」「もっとやってみたい」と感じられることです。教師は、その気付きや発見に寄り添いながら、安心して試せる環境を整えています。

夏の水遊びは、季節を感じながら、心も体も思いきり動かせる特別な活動です。夢中になって遊ぶ経験の中で、子どもたちは自分から学びに向かう力や探究する楽しさを育んでいくのだと思います。この「夏でしか経験できない経験」、富士幼稚園ではとても大切にしています。「遊んでいるだけ」と思われる動きも、とても大切な経験の積み重ねです。夏休みは、それぞれのお子さんのペースでたくさん遊んでください。

「先生、私ね！」「聞いて、聞いて」というキラキラした報告を楽しみにしています。

